

ハニーローザ

登録番号：第5136号

登録年月日：平成8年8月22日

登録者：(独)農業・生物系特定産業技術研究機構

育成者：吉田雅夫 京谷英壽 西田光夫
山口正己 中村ゆり 西村幸一

小園照雄 土師 岳 三宅正則

福田博之 木原武士

来歴：ホワイトプラムの自然交雑実生
育成地：茨城県つくば市藤本((独)農

業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所)

特性

■栽培特性

樹勢はやや強く、やや立ち気味となる傾向が見られる。枝の発生は多く、短果枝の着生も多い。開花期はやや早く、「大石早生すもも」より1週間程度早い。花粉を有し、結実性に優れるが、自家不和合性である。果実の成熟期は満開後95日前後となる早生種で「大石早生すもも」の数日後、「メスレー」と同時期となる。

■果実特性

果形は円形で果頂部がやや狭く凸形となる。果皮は、地色は緑黄色で陽光面を中心に紅または黄紅色に着色し、淡いピンク色の明るい外観となる。さらに完熟すると果実全体が鮮紅色に着色する。着色部位では緑黄色の果点が見られる。果肉の着生は少ない。

果実重は50g前後で、「メスレー」より大きい。「大石早生すもも」より25g程度小さい。果肉色は淡黄色で、果汁は多く、肉質の粗密は中で、やや軟らかい。果汁の糖度は屈折計示度で14%前後となり、早生種としては極めて高い。

酸味はpHで3.8程度で「大石早生すもも」より少ない。このため食味は甘みが強く、酸が柔らかく食べやすく、同じ早生品種の「大石早生すもも」や「メスレー」より勝る。

早生品種としては食味が優れることが本品種の大きな特徴である。日持ち性は中程度である。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

自家不和合性であるので、授粉樹が必要である。「ソルダム」、「大石早生すもも」、「メスレー」、「ハニーハート」等と交雑和合性である。開花期が早いので授粉樹も開花期の早いものを選ぶ必要がある。結実性は優れるので、摘果を十分に行う必要がある。黒斑病の発生が比較的多いので、薬剤による防除を徹底するとともに、防風対策が必要である。

果頂部の裂果および空洞果の発生が認められるので注意が必要である。日持ち性は中程度であるが、果実全面に着色すると日持ち性が悪くなるので、果頂部に着色が入り始めた頃が収穫適期である。

■地域適応性

北海道・沖縄を除いたスモモの栽培地域で栽培が可能である。特に、九州、四国地域などの早生スモモ産地での普及が期待される。

(八重垣英明)